

【めむろ未来ミーティング日程 11】

令和7年1月14日(火)

10:00~11:05

- 参加者 14人
- 芽室町 町長、副町長、教育長
環境土木課参事、魅力創造課参事
農林課長、環境土木課長、政策推進課長
- 記録 広報広聴係長

■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
 - 資料1 ゼロカーボンの取組
 - 資料2 新嵐山スカイパークのグランドデザインについて
- 4 意見交換

【意見】

新嵐山再開に伴い利用者も増えると思うが、美生道路があまりにも悪すぎる。6号から12号までの間が非常に悪く、新嵐山方面から町に向かうには歩道があるのでそこまで支障はないが、こちらから新嵐山に向かう方は、ものすごくへこんでいる。今年もスキー場オープン初日からサイレンが聞こえたと思ったら、車が落ちていた。毎年何台も落ちていると思う。道道なのでどこに言ったらいいのかもわからないが、直してほしい。新嵐山の方から少しずつ直してきているので、毎年直していくのかと思っていたら止まっているので、どのような仕組みなのかわからない。

【町長】

仰るとおり、新嵐山が再開することによりお客さんが増えていくことは間違いない事実なので、北海道

としっかり話していくしかないと考えている。施設が整備されることによって人が増えることは明白なので、そこは北海道にもしっかり理解していただき、優先度を高めてもらうなどの要請をしていきたい。町としてもできることがあればやっていく。

【意見】

カーブの部分の路肩が極端に下がっていて、同じ所に3台連続で落ちたこともあった。死亡事故にはまだなっていないが、あまりにも危険。

また、歩道の草もすごく伸びている。道路の縁部分は地域で刈ってもいいが、歩道はどうしたらいいのか。除草剤を撒くわけにもいかない。最近、散歩などで色々な人が歩いているが、草が伸びてひどいときには車道側を歩いている人も多いので、どうしたらいいのかと思っている。

【町長】

道道で言えば他の道路でも草が伸びてしまっている道路がある。主要道路のため目立っているということもあると思うが、危険であり景観も悪いので、話したからと言ってすべて解決するわけではないが、北海道には強く要望していきたい。

【環境土木課長】

先ほどの6号から12号の道路の一番ひどい場所など、地図を持ってきているので具体的な場所を後ほど教えていただき、北海道に対応していただけるよう要望したい。

【町長】

一気にすべて整備することはできないので、北海道としても優先度の高い所から整備していくと思う。この場所が特になど、地域の皆さんからお声をいただけるとありがたい。

【意見】

地域全体でサイクルツーリズムの関係で、美生道路と6線道路の辺りを走っている自転車が 많아、道路が整備されていないため怖い。トラクター等の作業車

で走っていると、速い自転車だったりゆっくりな自転車が走っていたりする。観光の過渡期なのでお互い譲り合うしかないのだろうが、何かルールを作れないかと思っている。また、南6線の道路縁の草が伸びていて、歩行者が車道を歩いていて危険。

それと、新嵐山の整備、開発に関して、展望台を綺麗にするとやっているが、南側斜面の散歩道や、展望台ではなく奥の新嵐山に行く道も整備してほしい。一度登ってみたが、松の木で360度何も見えないところに新嵐山の頂上だという祠があって残念だった。今回整備する時に、そのようなところも気をつけてもらうと面白いと思う。

【町長】

サイクルツーリズムは町の観光として推している部分はあるが、一方で道路などは整備されておらず、危険な部分というのはあると思う。十勝ではトカプチ400というサイクルルートがあり、それに芽室町は入っていないが、サブルートに芽室町を入れるという話もある。ただ、入るとするなら、道の整備も一緒にやらないといけいないので、北海道や国も含めて整備していただくことになると思う。

ゆっくり走る散走というものも進めていて、例えば国立公園になった日高山脈などの景観を見ながらゆっくり走って、食なども楽しんでもらおうという流れもある。渋山方面の道路はそういう意味ではいい場所であるが、整備されていないため危険だということを感じているので、これも全部一気にというのはできないが、ルートを決めて整備するなど、国や北海道とも連携しながら進めていきたい。色の付いた専用道路のようなものを整備すると周りも気をつけて走れるので、そのような整備が必要かと思っているが、数年で完全に整備することは難しいので、当面は要望、要請をしながら、どこまでできるかということを考えていく。

新嵐山の展望台に関しては、新嵐山の再生の中で、展望台を一番先に整備すべきということも多く言われている。資料の図面にあるように、頂上も緑色の都市公園ゾーンに入れようと考えている。少し説明させていただくと、この緑色の都市公園ゾーンと、赤

色の民間活用ゾーンの違いは、今まで都市公園というものに位置づけられていなかった新嵐山を、都市的機能を持ちながら公園を維持するという都市公園に指定し、将来にわたって責任をもって活用していくということ。また、都市公園に位置づけることによって、国からの交付金が入ってくる。これから整備しようとしている建物の整備等に国の交付金を活用できるメリットがある。

一方、赤色のゾーンは、町としてこのゾーンで何かやるという考え方を今は持っていないところで、令和8年度にこの場所で魅力発信などに活用していただけるような民間事業者を募集しようと考えている。町有地なので将来的に売ったり貸したりしていくことを考えている。

そのような中で、展望台も重要視しているため、展望台の整備をしっかりとっていかないといけない。南側の木に関しては、防風保安林という条件の厳しい位置づけとなっており、伐採が簡単にできない。下からも生えているので、機械を入れて伐採することも厳しい実態。リフトの南側の雑木に関しては伐採し、上美生の市街が見えるくらい見晴らしがよくなった。仰るとおり景観が素晴らしく、町の観光としていかしていきたいという思いはあるので、少しずつでも整備を考えていきたい。展望台に続く道は本来林の管理道という位置づけで、観光のための道路ではない。昔、整備を検討したが、総額3億円程度かかるということで現実的ではなく難しいという判断。それであれば、今、リフトの架け替え等も検討しているので、もう少し伸ばして夏場も頂上まで上がれるようにしてはどうかなど、色々模索していきたい。ただ、雪が本当に少ない状況であり、将来的にずっとスキー場を続けていけるかどうかということは慎重に考えなくてはいけない部分もある。リフトを2本全部整備すると、前の試算では8億円くらいかかるということだった。今は資材が高騰しているので、おそらく12億円など、そのくらいになっていると思われる。そのため、もし整備するにしても、リフトは1本にして、場所を変えて夏場も利用できるようにすることなども考えなければ、採算をとることはできないと考えている。

【意見】

遊歩道の倒木も多い。蜂の巣状に入り組んだ遊歩道があるが、通れないほどではないが、倒木を乗り越えて進むような場所がある。また、枝が伸びている木も多いので、1本伐採してほしいということではなく、倒木の処理や剪定等をして通りやすいようにしてほしい。そうすることですぐよくなると思う。

【意見】

畑の間に町道である土の道路がある。去年の秋、新嵐山から散歩するイベントがあった時、その土の道路を集団で歩いていた。そのイベントに参加した人かもわからないし、町道なので通ってはいけないとは言えないが、どこを通ってきたかわからない靴で土を歩かれると心配である。雨などで水が流れるとそのまま畑に土が流れるという感じの道路なので、これからたくさんの方が通られることが想定されるなら、しっかり整備していただくと心配がなくなる。

【町長】

状況は理解した。後ほど地図を見ながら場所を確認させていただき、対応を考えたい。

【意見】

ここ最近シカもアライグマも増えている。先日も猟友会の人たちがうちの畑の近くの川で立て続けに4匹捕まえていた。猟友会の人でも高齢化により銃の管理等も大変になってきているようであり、有害鳥獣により畑作にも被害があるので、誰か担ってくれる人がいてほしいと思う。カラスも多い。

【町長】

猟友会は元々有害鳥獣を駆除するための会ではなく、ハントを楽しむ会ではあるが、芽室町ではおかげさまで猟友会の理解もいただいて、これからも協力的に頑張ってくださいと言っていた。ただ、高齢化の問題はある。しかし、有害鳥獣駆除のために入ったわけではないが、猟友会に30代や40代の方が少しずつ入ってきている実態であり、次の世代に繋げるように会としても努力しているような

状態で、他の自治体と比べると割と若くなっている部分もあると思う。

アライグマは繁殖力がものすごく、爆発的に広がることもあるので、農家の皆さんに罠の講習などをさせていただいて、罠を設置するなど対応していただいている。今までいなかったところに出没しているということは確かにある。クマも以前は川北に出ることはなかったが、最近では出てきていて、鳥獣がどんどん下りてきているということがあるので気にしている。

カラスは他の会場でも話があったが、なかなか対処法が難しいというのが実態。

【農林課長】

シカに関しては銃で撃っていくしかないのですが、巡回を続けながら猟友会と連携して今後も取り組んでいく。若い方が増えてきていることと、農家の方が銃の免許を取って、自分の集落に出た場合対応するというような方が4、5人いるので、そのような取組も広げていきたい。

アライグマは逆に銃で駆除することは不可能なので、罠を徹底的にかけていくしかないという現状。年に1回防除講習会というものを実施しており、これを受けていただければ狩猟免許を持っていなくても罠をかけることができる。農家の方がほとんどだが、150人くらい登録していただいている。罠も貸し出せるので、自分の畑や住宅の周りでも出るようなところに罠を設置いただき、捕獲できた場合はこちらで対応するので御協力いただきたいと思う。

カラスなどの鳥に関しても、被害や数の多さは把握しているが、駆除しても駆除してもという状況。鳥獣全体に対して、駆除もしていくが、寄せ付けない、追い返すというような忌避資材を試して、実績を上げているところもあるので、そういったものも併用しながら対策を考えていきたい。

【意見】

私は年寄り夫婦2人で住んでいるため、なるべく物を増やさないようにしていて、ゼロカーボンの取組もしているが、若い人達は物を増やしていたり、家を建て

たり、購買力もあるので、その辺りで手厚い補助をつけるなど、ゼロカーボン、SDGsの取組を進めてほしい。

【町長】

町として最終的にゼロカーボンになっていいことあるのかという意見もある。これは、SDGsを始め、世界中で温室効果ガスを少なくしていくと進めているところで、大事なことがすぐ目に見えない部分である。進め方としては難しく、メリットがどうなどという話になると難しい部分もあるが、少しでも意識をもっていただき、一つでもやっていただくという方向に持っていきたいと思っている。その時に、町民の皆さんにばかりやってくださいというわけにはいかないの、再エネや省エネを導入するなど、公共でも本気で取り組んでいるというところを見せていきたい。家電の更新の際には補助をするので一緒に取り組んでもらいたい。

【意見】

新嵐山のランドデザインに関して、民間活用ゾーンの近くには綺麗な美生川が流れている。自然を壊さないよう、簡単に売ることにはせず、仮に売にしても貸すにしてもしっかりと業者を選定してほしい。また、それが決まった時には事前に町民に説明してほしい。

それと、コンビニでの証明書交付が始まるが、マイナンバーカードの取得は任意と言われている。これが全員取得してくださいということであれば、便利になるし問題はないと思う。マイナンバーカードに対する嫌悪感がある人や、信頼していない人もいる。色々な考え方で進めてもらいたい。

【町長】

ランドデザインは現在の構想であり、今後計画を立てていく。そのような計画ができた時に合わせて、随時町民の皆さんに説明していく必要があると思っている。

民間活用に関しては仰るとおり。町としても簡単に売ったり貸したりは考えていない。乱開発は考えていないので、新嵐山のコンセプトに合うような提案

をしてきた民間事業者に対し、町としてどうするかを決めていきたい。一部整備する部分はあるかもしれないが、自然は壊さないように取り組んでいきたい。オオバナエンレイソウなど、守らなければならない場所はケアしていく。

マイナンバーカードの取得は任意であり、証明書は窓口でもこれまでどおり交付していく。自分を証明できるものがあれば、窓口で書類に書くことを省略する書かない窓口の取組も進めていく。

11時05分終了

